



平成 27 年 7 月 7 日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所
名古屋港湾空港技術調査事務所

”未来”の技術者たち 現場で学ぶ

～ 学生が伊勢湾水理環境実験センターと名古屋港を見学～

1. 概要

“未来”の土木技術者育成の一環として、豊田工業高等専門学校環境都市工学科の1年生42名が、7月2日(木)に、伊勢湾水理環境実験センターと名古屋港を見学しました。

<伊勢湾水理環境実験センター 見学の様子>

学生は、午前中に伊勢湾水理環境実験センターを見学。「国土交通省とは」、「中部地方整備局とは」、といった行政に関すること、また港湾に関することの説明を受けた後、当センターが所有する伊勢湾環境水槽(伊勢湾を1/2000に縮尺した実験用模型)、長水路水槽(防波堤等の津波に対する実験を行う施設)等を見学しました。

なお、名古屋港湾空港技術調査事務所では、同センターの施設見学を随時受け付けております。

施設見学のお問い合わせ 名古屋港湾空港技術調査事務所総務課 TEL 052-612-9981

<名古屋港 見学の様子>

学生は、午後から名古屋港湾事務所内での座学と、船に乗っての港内見学とを交代で行い、名古屋港の学習をしました。座学では、名古屋港は取扱貨物量が日本一の港であることや、高潮防波堤の構造や効果などについて学びました。船に乗っての港内見学では、学生は港湾業務艇「翔龍」と「たかちほ」にわかれて乗船し、コンテナや自動車を取扱う岸壁や、高潮防波堤などを海上から間近に見学しました。船内では、みなとサポーターによる説明を熱心に聞き、実際の現場のスケールの大きさに驚いていました。

<現場を見学した学生の様子>

学生たちからは、防波堤の構造について、などの質問があり、高潮や津波に備えて設計されたことを知ると、感嘆の声をあげていました。現地で高潮防波堤の断面を間近に見た際には、工夫された形状に興味を持ち、目を輝かせながら写真に収めていました。

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

3. 問い合わせ先 国土交通省 中部地方整備局
名古屋港湾事務所 企画調整課 板生(いたお)
TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303
名古屋港湾空港技術調査事務所(伊勢湾水理環境実験センター)
総務課 近藤(こんどう)、小林(こばやし)
TEL 052-612-9981 FAX 052-612-9452



4. 見学の様子



伊勢湾環境水槽の見学の様子



長水路水槽の見学の様子



波浪平面水槽の見学の様子



簡易液化化実験(エッキー)の様子



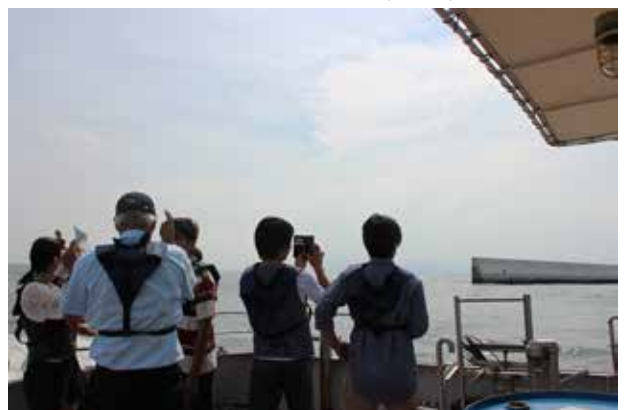
名古屋港湾事務所での座学の様子



港内見学の様子 (翔龍)



港内見学の様子 (たかちほ)



港内見学の様子 (たかちほ)